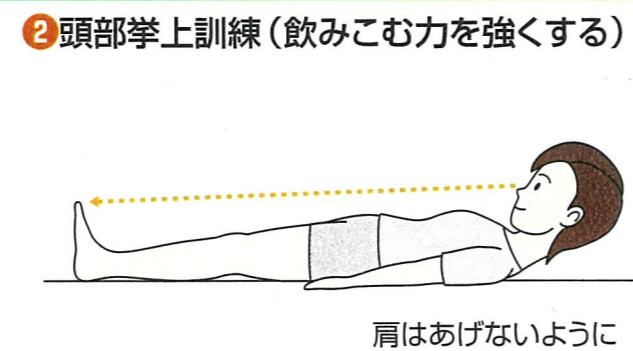


*無理のない範囲で続けて行いましょう。

9 のどの強化



おうちに介護される方へ

① 口腔ケアをしましよう

お口の中には細菌がたくさんいます。歯磨き、入れ歯、舌苔^{*}の清掃、うがいなどを毎日、しっかり行いましょう。歯や歯肉のトラブルがある場合は歯科医師へ相談しましょう。

*ぜったい：舌についている苔のようなもの



③ 食事の介助は本人の状態に合わせて行いましょう

姿勢(軽いうなづき、上体の角度など)、食物の形態、一口量、食べさせるスピード、全体量、環境(集中力、覚醒の促しなど)の調整を行います。むせ、咳がなく、ご本人が無理なく食べているかを観察しましょう。



④ いつもと異なる場合には専門家にすぐに相談しましょう

筋肉や関節の痛みが長期にわたり改善しない、37.5度以上の発熱がある、痰が増えた(痰がだせない)、がらがら声になった、食事量が減ってきた、やせてきたなどの症状がでてきたら、すぐに医師などに相談しましょう。

*なお、不明点や詳細については、専門家へ相談しましょう。

がるぷ トレーニング™

*『がるぷ』とは英語の gulp のことで、ゴクリと飲むという意味です。



監修

摂食・嚥下友の会 代表 千葉由美
東京医科歯科大学リハビリテーション部

トレーニングの際の注意

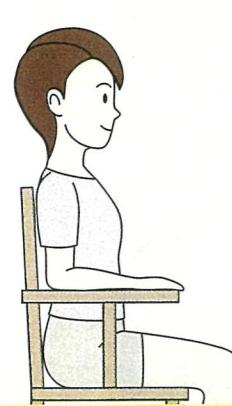
パンフレット記載の運動の程度・方法によっては、体の変調をきたすことがあります。頸部のトラブルや高血圧などがあったり、受診中の方は、事前に医師などの専門家に相談してください。また、運動中に身体の異変を感じた場合には、ただちに中止してください。

確認しながらゆっくりしっかりと行いましょう!

各10回ずつ

*ご自身でできない場合は、介助者が手をそえて行いましょう。
*無理のない範囲で行いましょう。

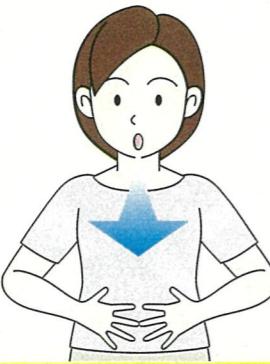
1 姿勢



首と背中をまっすぐにする

2 呼吸訓練

① 深呼吸



口から息をはききいたら、鼻から吸う

② ブローイング



できるだけ長く息をはく



負荷は水の量で調整する

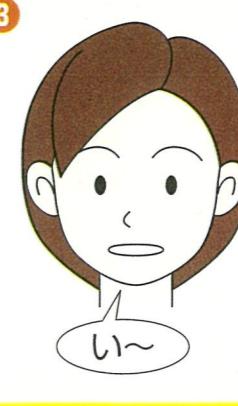
5 唇・口(声を出してしっかり唇を動かす)



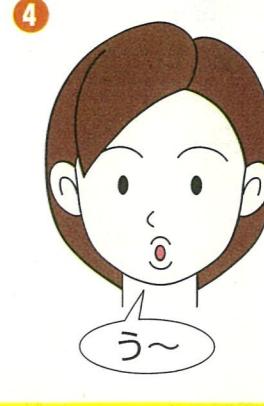
大きく口を開ける



口を閉じる



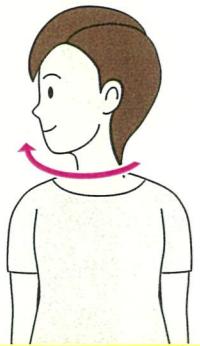
横に伸ばす



前へつき出す

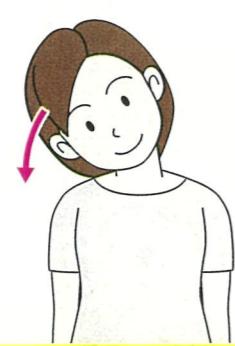
3 首

① 横向き



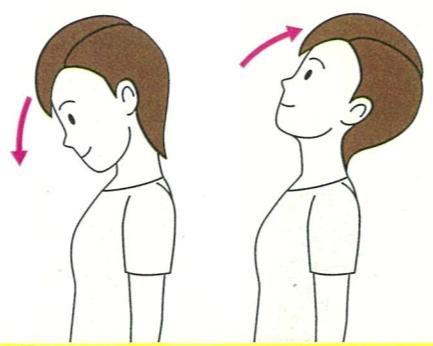
右むき

② 傾き



左むき

③ 前後



右へ

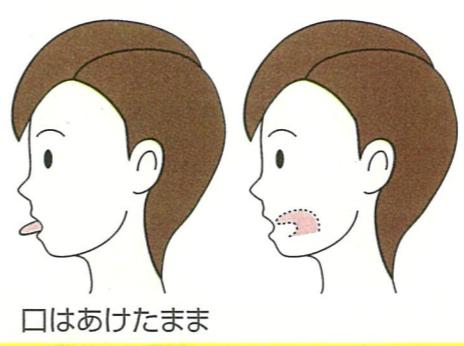
左へ

前へ

後ろへ

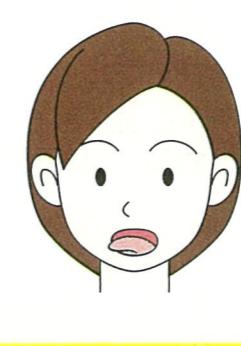
6 舌

① 前後



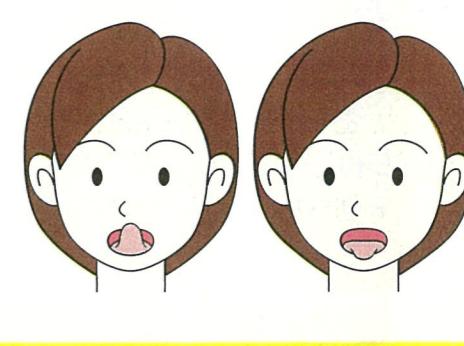
口はあけたまま
前へつき出す

② 左右



奥までひっこめる

③ 上下



右へ

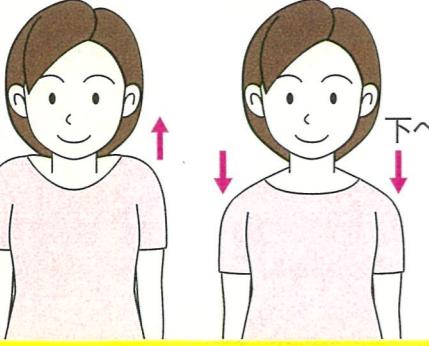
左へ

上へ

下へ

4 肩

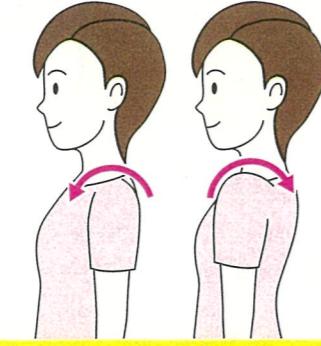
① 上げ下げ



上へ

下へ

② 肩回し



後ろから前へ回す

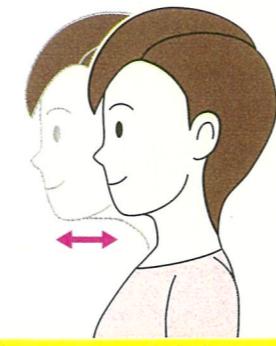
前から後ろへ回す

③ 背のび



上までしっかりあげてからもどす

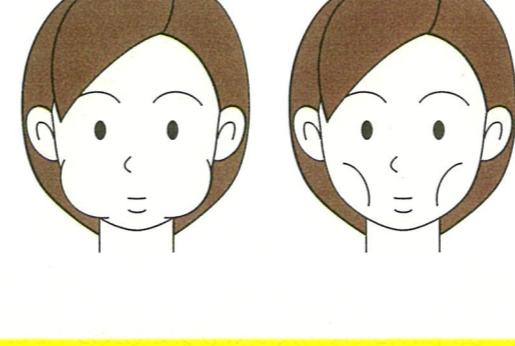
④ 頸だし



肩はそのままでものを押す感じ
(頸でものを押す感じ)

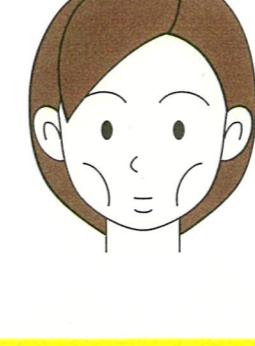
7 頬

① ふくらます



ふくらます

② ひっこめる



ひっこめる

8 発声

① はぎれよく①～③を発声



はぎれよく①～③を発声

② のどを緊張させる



のどを緊張させる
い～(裏声)

低い音からだんだん高くなる
(そのまま5秒程度)

*肩がかたい方は念入りに行いましょう

- ①「ぱっぱぱぱ」 「たったたた」
↓ 「かっかっか」 「らっらら」
- ②「ぱぱぱぱ」 「たたたた」
↓ 「かかかか」 「ららら」
- ③「ぱたからぱたから」